

【東京藝術大学×SOMPOホールディングス】産学連携プロジェクト

Diversity on the Arts Project (通称：DOOR)

東京藝大で社会人が学ぶ福祉と芸術

～2018年度DOOR受講生の募集開始～

国立大学法人東京藝術大学（学長：澤 和樹、以下「東京藝大」）とSOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、2017年4月から「アート×福祉」をテーマに、「多様な人々が共生できる社会」を支える人材を育成するプロジェクト、『Diversity on the Arts Project』（ディレクタ：日比野 克彦 美術学部長）を展開しています。

このたび、2018年度のDOOR受講生の募集要項を東京藝大のホームページに掲載しましたので、お知らせします。

1. Diversity on the Arts Project (通称：DOOR)

Diversity on the Arts Project（通称：DOOR）は、「アート×福祉」をテーマに、「多様な人々が共生できる社会」を支える人材を育成するプロジェクトです。

講師として、現代の社会に生きづらさを感じている当事者、社会と関わりを持ち表現を行うアーティスト、現代の福祉をより広い視点で捉え直す様々な分野の専門家を迎えます。アートと福祉が滲みあうフィールドをお互いの作用において拡張しながら、体系的かつユニークなカリキュラムを展開していきます。

2. 募集概要

- (1) 募集人員 : 50名 *応募者多数の場合は書類審査を実施。
- (2) 主な受講場所 : 東京藝術大学、東京都美術館およびSOMPOホールディングス 介護事業子会社の介護施設ほか
- (3) 在籍期間 : 1年間（2018年4月1日～2019年3月31日）
- (4) 受付期間 : 2018年1月10日（水）～2月12日（月）
- (5) 募集要項 : 詳細は、以下ページをご覧ください。
<http://door.geidai.ac.jp/info>

3. 受講生募集説明会と公開授業

受講希望者を対象に募集説明会と公開授業を開催します。

(1) 受講生募集説明会

日時：2018年1月22日（月） 16:00-17:00

2018年1月29日（月） 16:00-17:00

場所：DOOR（東京都台東区上野桜木1-7-5ハウス上野の山 B1）

料金：無料（要申込・先着順）

申込方法：以下必要事項を記載の上、(3)の問い合わせ・申込み先にメール、FAXにて申込みください。

- ①参加説明会（月日）、②氏名（読み）、③参加人数、④メールアドレス
- ⑤電話番号、⑥年代（任意）

(2) 公開講義

①ダイバーシティ実践論

日時：2018年1月22日（月） 18:20-19:50

場所：東京藝大学上野キャンパス 美術学部中央棟1F 第一講義室
（東京都台東区上野公園12-8）

講師：日比野 和雅氏（NHKプラネット近畿総支社番組制作センター／
NHK Eテレ「バリバラ」元プロデューサー）

料金：無料（事前申込不要、当日先着順・定員60名）

②「国際現代美術ビエンナーレ”BIENALSUR”～国境・民族・地域・属性を超えて 南米から発信される「グローバルな南」とは～

日時：2018年1月29日（月） 18:20-20:30

場所：東京藝大学上野キャンパス 美術学部中央棟1F 第一講義室
（東京都台東区上野公園12-8）

講師：ディアナ・ウエシュラー（BIENALSUR アート・学術ディレクター、
国立トレス・デ・フェブレロ大学文化芸術研究所ディレクター／
アルゼンチン）、藤原信幸（東京藝術大学美術学部工芸科教授）、
日比野克彦（東京藝術大学美術学部長）他

料金：無料（事前申込不要、当日先着順・定員60名）

※日本語及びスペイン語で行います。（日西同時通訳有り）

(3) 問い合わせ・申し込み先

東京藝術大学 履修証明プログラム Diversity on the Arts Project (DOOR)

住所：東京都台東区上野桜木1-7-5 ハウス上野の山 B1

TEL、FAX：03-5834-7938（10:00-18:00／木・祝休み）

MAIL：info-door@ml.geidai.ac.jp

以上

東京藝術大学 履修証明プログラム

Diversity on the Arts Project 受講生 募集



Photo / Kazue Kawase

東京藝大で社会人が学ぶ福祉と芸術

「Diversity on the Arts Project」(通称:DOOR)は、「アート×福祉」をテーマに、「多様な人々が共生できる社会」を支える人材を育成するプロジェクトです。

講師として、現代の社会に生きづらさを感じている当事者、社会と関わりを持ち表現を行うアーティスト、現代の福祉をより広い視点で捉え直す様々な分野の専門家を迎えます。アートと福祉が滲みあうフィールドをお互いの作用において拡張しながら、体系的かつユニークなカリキュラムを展開していきます。

*履修証明制度について
文部科学省が推奨する、社会人とその大学に在学する学生を対象として大学が体系だった学習プログラムを提供する仕組み。120時間の受講で履修証明書を取得できます。

<http://door.geidai.ac.jp>

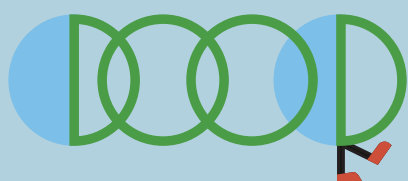
何があるのだろうか？

ひとりひとりの他者と私の間には

同じ社会の中で生きている

他者というひとりの人

私というひとりの人



**Diversity on the
Arts Project**



東京藝術大学

講義概要

必修科目

[ダイバーシティ実践論]

担当教員 | 日比野克彦(東京藝術大学 美術学部長)

当事者や実践者との対話を通して、現代の福祉を考え、
これからの社会を創造する

期間 通年 曜日 月曜日 日数 30日 時間 18:20-19:50

様々な領域からオムニバス形式で講師を迎え、対話を交えながら、創造されるべき共生社会を考察し、実践につながる思考を編んでいくことを目指す。2017年度ゲスト講師:中島岳志(政治学)、久保田翠(認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ)、藤井光(美術家・映像作家)、菅原直樹(俳優・介護福祉士)ほか。



Photo / Kazue Kawase

[プログラム実践演習]

担当教員 | 日比野克彦(東京藝術大学 美術学部長)

日常の些細なことからワークショップの新たな形を見いだす

期間 通年 曜日 主に土曜日 日数 活動に応じる

1年を通じてワークショップの企画立案を行う。グループごとにテーマを定め地域や福祉施設のリサーチなどをもとにワークショップを考案し、イベント等でのトライアルを行う。また、既存のアートプロジェクトにも参加し、社会の中で見過ごされがちな事象に目を向けてきたアーティストの眼差しに触れ、学びを深める。受講生が日常の些細なことの中からワークショップの新たな形を見いだすことを目指す。



Photo / Ryohei Tomita

[ケア原論]

担当教員 | 伊藤達矢(東京藝術大学 特任准教授)

福祉の基礎を学び
アートとの接点について考える

期間 10月~1月 曜日 土曜日 日数 9日

福祉の歴史やケアの基礎的な考えを知り、わたしたちを取り巻く環境が抱える問題について理解を深める。また、福祉・アートの両領域における創造的な取り組みを参照することで、現代の福祉とアートの接点について考察する。アートを介し福祉をより多角的な視点で捉えてゆくこととする。



[ケア実践場面分析演習]

担当教員 | 日比野克彦(東京藝術大学 美術学部長)

ケアの現場を社会に開く方法を
考察する

期間 8月~1月 曜日 主に土曜日 日数 活動に応じる

社会人受講生と学生がグループワークなどで協働しながら、マイノリティと感じている人々との交流や、実際の福祉の現場へ足を運ぶなかで、ケアの現場をより社会に開かれた場とする方法を考察し、福祉の現場に自らの活動を見出していくことを目指す。



選択科目

東京藝大の講義、美術館で行なわれる講座などを選択できます。

[アート・コミュニケーション基礎]

担当教員 | 伊藤達矢(東京藝術大学 特任准教授)

期間 4月~6月 曜日 土曜日 日数 6日

芸術と社会を結びつける考え方や行動のあり方について学ぶ。

[アクセシデザイン基礎]

担当教員 | 伊藤達矢(東京藝術大学 特任准教授)

期間 7月~2月 曜日 日曜日 日数 8日

障害をもつ当事者や社会的弱者の支援に取り組む組織・専門家を招き、人々がアートを介して多様な価値にアクセスできる環境について学ぶ。

[美術鑑賞実践演習]

担当教員 | 稲庭彩和子(東京藝術大学 非常勤講師、東京都美術館 学芸員)

期間 6月~2月 曜日 主に月曜日 日数 10日

対話を生み、自由な発想で、主体的に見る鑑賞の場づくりとは？講義と実践を通して考える。

[ソーシャルプラクティス実践論]

担当教員 | 伊藤達矢(東京藝術大学 特任准教授)

期間 5~9月 曜日 主に土曜日 日数 8日

多様性を理解し、様々な人との共同作業を実現するために必要な知識を身につける。

[色彩学]

担当教員 | 日比野克彦(東京藝術大学 美術学部長)

期間 夏季 曜日 未定 日数 4日

絵画的側面だけでなく生活世界のあらゆる分野に関わる「色彩」。表現未満の「種」を見出す感覚・感性を養う。

[人間形成学総論]

担当教員 | 渡邊祐子(東京藝術大学 非常勤講師、Museum Start あいうえの プログラムオフィサー)

期間 夏季 曜日 未定 日数 4日

芸術活動と切り離せない、形作ること、人間の性質や能力を育て形成する教育と重ねた「陶冶」としての教育学。

[アートプロジェクト実践論]

担当教員 | 奥山理子(東京藝術大学 非常勤講師、アーツカウンシル東京TURNコーディネーター、みずのき美術館キュレーター)

期間 夏季 曜日 未定 日数 4日

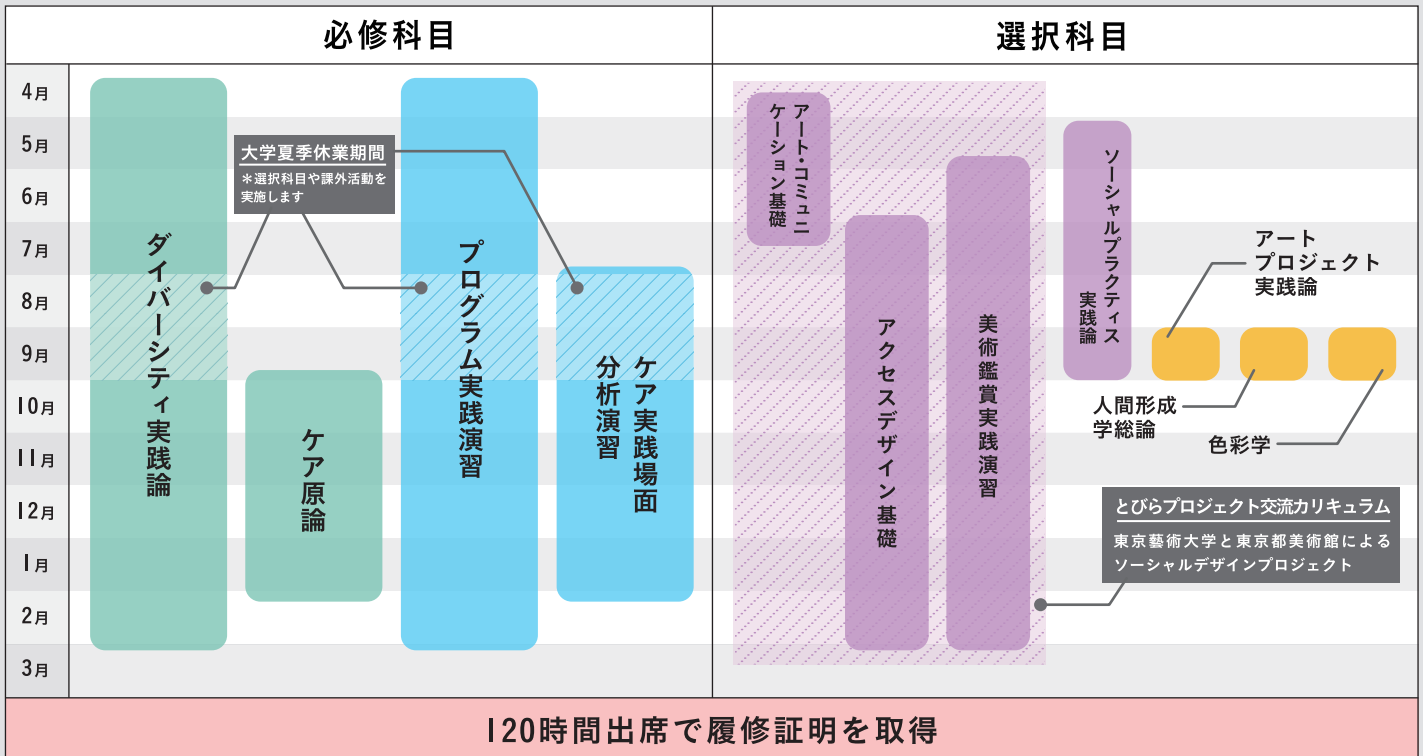
アートプロジェクトはどこへ向かうのか。実践的立場から行なう検証と考察。



*プログラム及び講座の内容は変更になる可能性があります。

履修の流れ

*必修科目4科目+選択科目から1科目以上履修します。



*履修証明制度について

文部科学省が推奨する、社会人とその大学に在籍する学生を対象として体系だった学習プログラムを提供する仕組み。120時間の受講で履修証明書を交付します。

DOORプロジェクト修了後の活動イメージ



アートのなかに福祉的な視点を取りこみ、スタッフやアーティストとして活動する



福祉のなかにアートの視点を取りこみ、社会福祉施設などの職員として働く



アート、福祉にこだわらず、自らの職場・地域に共生社会を創造する新たな提言を行っていく

DOORディレクター



日比野克彦

東京藝術大学
美術学部長



社会の中における芸術の役割って何なのだろうか？
 芸術に役割というものがあるのだろうか？
 芸術は役に立つものなのだろうか？
 役に立つとはどういうことなのだろうか？
 役に立たないといけないのだろうか？
 個人としての芸術とは何なのだろうか？
 社会としての芸術とは何なのだろうか？
 私たちの生きている現代社会は今どうなっているのだろうか？
 その中で芸術は今どうしているのだろうか？
 私というひとりの人
 他者というひとりの人
 同じ社会の中で生きているひとりひとりの他者と私の間には
 何があるのだろうか？
 そこに芸術があるのだろうか？

2017年度受講生の声



森 菜穂子 (高齢者福祉施設 ケアマネージャー)

アートとは何だ？ケアの本質とは？宇宙で人間が生きる意味は？人間って何だ？片道3時間かけ通う講義に毎回考えさせられ心揺さぶられます。



横田 紗世 (介護福祉士)

DOORで得たこと1、介護の仕事が楽しくなった。2、異なる領域で働きながら、同じ未来を目指す友に出会えた。どちらも一生の財産になると思います。



楼 婕琳 (東京藝術大学大学院美術研究科修士1年/留学生)

授業を通じ、芸術はどう社会に介入するか問い続けています。その答えは、自分ではなく、人と出会い、語り合うことから生まれる、その場こそがダイバーシティだと考えています。



小林久美 (地方公務員)

社会学、工学、建築、福祉など多方面から多様性に関する知見に触れ、考える場でした。仲間と話し合いを重ね、作り上げた企画にトライできる機会が貴重でした。



宮原 一郎 (フォトグラファー)

自閉症のため言葉が話せない私の子供が、差別・隔離されない社会を作りたいと考えています。グループワークでは言葉が相互理解の壁となることがあり、難しさを感じることもありました。



荒川 弘憲 (東京藝術大学美術学部1年)

DOORを受講してぐっと世界が広がりました！現代社会が抱えている問題を、これほど充実した講師の方々から学ぶことができるのは貴重な体験です。

募集概要

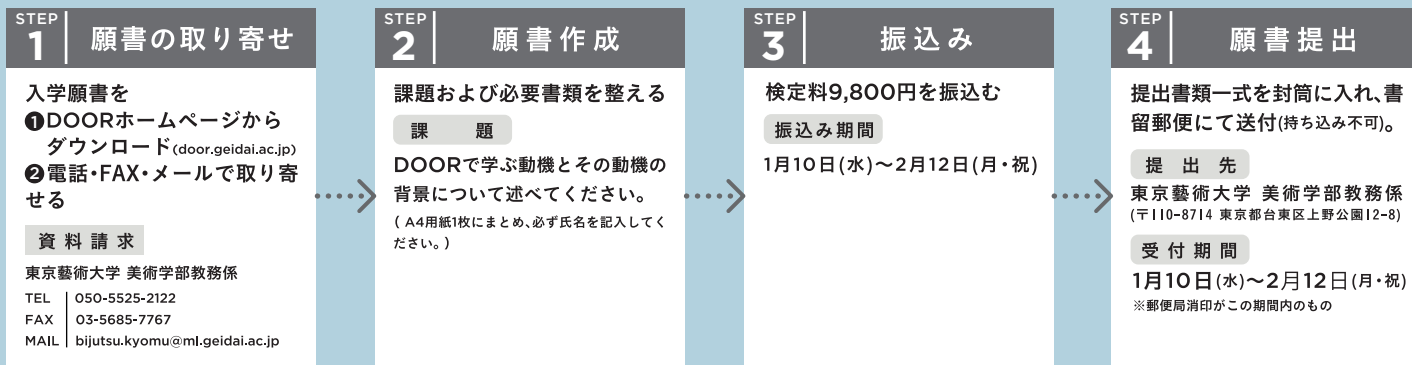
募集人員 50名 *応募者多数の場合は書類審査を実施。

在籍期間 1年間 (2018年4月1日～2019年3月31日)

受講料 200,000円 (別途検定料: 9,800円)

主な受講場所 東京藝術大学上野キャンパス他

出願の流れ



※受講の可否・受講の手続きについては3月15日頃に大学から通知します。

DOORで学びたい方へ

受講希望者を対象に、Diversity on the Arts Project 説明会と公開講義を開催します。説明会では、プロジェクトの趣旨や一年の流れについて説明し、疑問・質問にお答えする時間を設けます。関心のある方はお気軽にご参加ください。

	16:00	17:00	18:20	19:50 20:30
1/22[月]		① 受講生募集説明会 (会場: DOOR)	③ 公開講義 (会場: 東京藝術大学美術学部中央棟)	
1/29[月]		② 受講生募集説明会 (会場: DOOR)	④ 公開講義 (会場: 東京藝術大学美術学部中央棟)	

受講生募集説明会

① 2018年1月22日[月] 16:00～17:00 ② 2018年1月29日[月] 16:00～17:00

場所 DOOR(東京都台東区上野桜木1-7-5ハウス上野の山 B1) 料金 無料(要申込・先着順)
お問い合わせ 件名を「説明会(月日)」とし、①お名前(読み)②参加人数③メールアドレス
④電話番号⑤年代(任意)をご記載下さい。
●DOORイベントページ: <http://door.geidai.ac.jp/info> ●MAIL: info-door@ml.geidai.ac.jp
●FAX: 03-5834-7938

公開講義

③ 2018年1月22日[月] 18:20～19:50 (受付開始17:45～)

講師 日比野 和雅 (NHKプラネット近畿総支社番組制作センター/NHK Eテレ「バリバラ」元プロデューサー)
場所 東京藝術大学上野キャンパス 美術学部中央棟1F 第一講義室 (台東区上野公園12-8) 料金 無料 (当日先着順・定員60名)

④ 2018年1月29日[月] 18:20～20:30 (受付開始17:45～)

国際現代美術ビエンナーレ「BIENALSUR」～国境・民族・地域・属性を超えて南米から発信される「グローバルな南」とは～
講師 ディアナ・ウェシュラー (BIENALSURアート・学術ディレクター、国立トレス・デ・フェブレロ大学文化研究所ディレクター/アルゼンチン)、
藤原信幸 (本学美術学部工芸科教授)、日比野克彦 (本学美術学部学部長) 他 *日本語及びスペイン語で行います (日西同時通訳有り)。
場所 東京藝術大学上野キャンパス 美術学部中央棟1F 第一講義室 (台東区上野公園12-8) 料金 無料 (当日先着順・定員60名)



東京藝術大学 〒110-0007 東京都台東区上野公園12-8

お問い合わせ

東京藝術大学履修証明プログラム Diversity on the Arts Project (DOOR)

住所: 東京都台東区上野桜木1-7-5 ハウス上野の山 B1

TEL・FAX: 03-5834-7938(10:00-18:00/木祝・休) MAIL: info-door@ml.geidai.ac.jp URL: <http://door.geidai.ac.jp/>

アクセス

J R 上野駅(公園口)より徒歩16分 / 日暮里駅より徒歩13分
東京メトロ 銀座線・日比谷線 上野駅より徒歩17分 / 千代田線 根津駅より徒歩9分
京成電鉄 京成上野駅より徒歩15分
都営バス 上26系統(亀戸⇄上野公園) 20谷中バス停より徒歩4分
台東区循環バス 東西めぐりん 桜木会館前バス停より徒歩1分

supported by 保険の先へ、進む。 SOMPO ホールディングス